



カエルの^な鳴き声^{ごえ}は、^だどうやって出しているの

カエルは、^{くち}口^あを開けないで^な鳴く

カエルが^な鳴くのは、ふつうはオスだけです（ニンニクガエルは、オスが^な鳴くと、メスも^な鳴く）。^{たまご}卵^うを^じ産む時期になると、オスがメスを呼ぶために^な鳴く、といわれています。

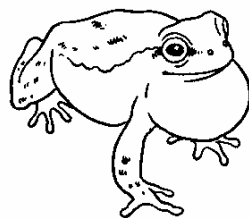
^{にんげん}人間が^{ごえ}声を出すときは、^{はい}肺に^す吸いこんだ^{くうき}空気をはき出すとき、^{のど}のどにある^{せいたい}声帯という^{きんにく}筋肉をふるわせて^{おと}音を出し、^{くち}口から^{くうき}空気と^{おと}音を出します。カエルも、^{おな}同じように^{せいたい}声帯をふるわせて^{ごえ}声を出しますが、^な鳴くとき、^{くち}口や^{はな}鼻から^{くうき}空気を出しません。^{くうき}空気を^{くち}口や^な鳴きぶくろにため、^{くうき}この空気をまた^{はい}肺に^す吸いこみ、^{はい}肺から^{くち}口におし出すということをくり返して、カエルは^な鳴きつづけます。

^な鳴きぶくろ^{おお}が大きいほど、^な鳴き声^{おお}も大きい

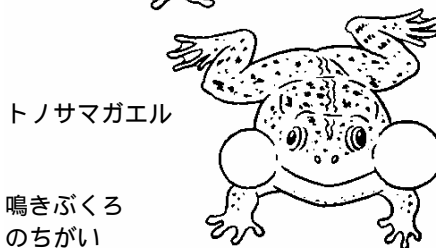
オスのカエルは、^{くうき}空気をためておくのと、^な鳴き声^{ごえ}をひびかせるための、^な鳴きぶくろというものをもっています。カエルの^{しゅるい}種類によって、^な鳴きぶくろの^{ところ}ついている^{ところ}所がちがいます。

アマガエル、モリアオガエルなどは、^{した}のど^なの下側に^な鳴きぶくろがあります。トノサマガエルやダルマガエル、ヤマアカガエルなどは、^{りょう}ほっぺたの^{がわ}両側にあります。ヒキガエルやツチガエルなどは^な鳴きぶくろがなく、^{はい}肺からは^だき出した^{くうき}空気を、^{くち}口に^{ごえ}ためて^だ声を出しています。^な鳴きぶくろ^{おお}が大きく^なふくらむカエルほど、^{ごえ}声がよく^なひびいて、^な大きな^{ごえ}鳴き声^だが出せます。

（監修・今泉 忠明）



アマガエル



トノサマガエル

鳴きぶくろ
のちがい

